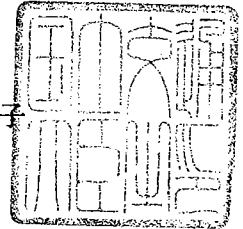


認 定 書

国住指第 7905 号
平成 14 年 12 月 25 日

積水化学工業株式会社
代表取締役 大久保 尚武 様

国土交通大臣 林 寛子



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号ハ[防火区画貫通部 1 時間遮炎性能]の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PS060FL-0071
2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称
給・排水管/モルタル・黒鉛含有ブチルゴムシート裏張/アルミニウムはく張/
ガラスクロス充てん/床耐火構造/貫通部分（中空床を除く）
3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容
別添の通り

1. 構造名

給・排水管／モルタル・黒鉛含有ブチルゴムシート裏張／アルミニウムはく張／ガラスクロス充てん／床耐火構造／貫通部分（中空床を除く）

2. 寸法及び形状等

(寸法単位：mm)

項目	申請構造
開口部	(面積) 0.0260m ² 以下 (φ0.182m以下) (形状) 円形
占積率 (開口面積に対する給・排水管断面面積の総合計の割合)	68.8%以下
貫通する床の構造等	ALCパネル 厚さ 100以上 コンクリート 厚さ 70以上

3. 材料構成

(寸法単位：mm)

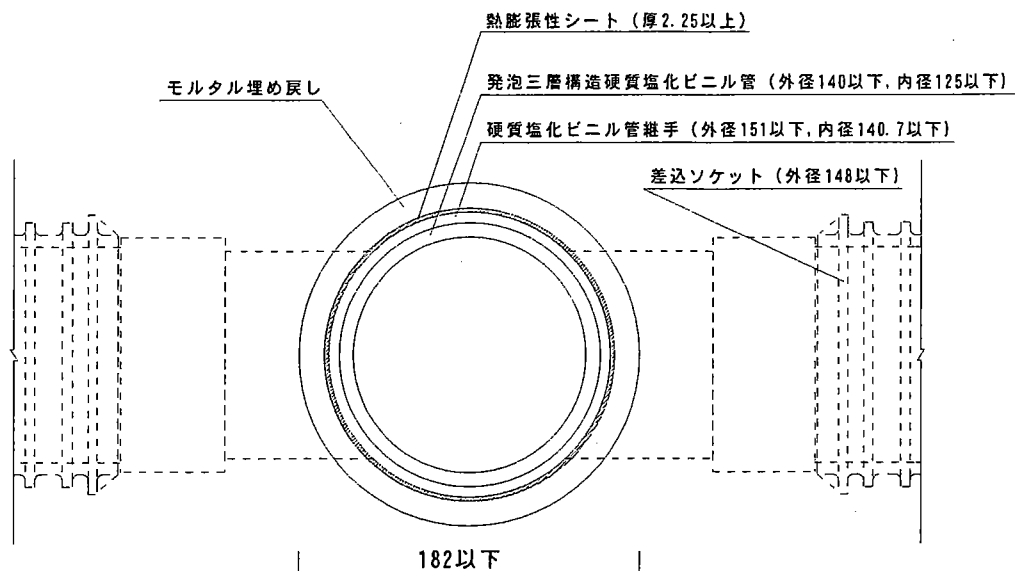
項目	申請構造			
給・排水管	硬質塩化ビニル管継手	規格	JIS K 6739	
		外径	151以下	
		内径	140.7以下	
	直配管部 (縦部)	硬質塩化ビニル管継手	規格	JIS K 6739
			外径	151.58以下
			内径	140.7以下
		発泡三層構造硬質塩化ビニル管	規格	塩化ビニル管・継手協会規格AS59
			外径	140以下
	差込ワット	外径	181以下	
	直配管部 (横部)	硬質塩化ビニル管継手	規格	JIS K 6739
			外径	124.42以下
			内径	114.55以下
		発泡三層構造硬質塩化ビニル管	規格	塩化ビニル管・継手協会規格AS59
			外径	114以下
差込ワット	外径	148以下		
防火措置材料	膨張材 「黒鉛含有ブチルゴムシート裏張／アルミニウムはく張／ガラスクロス」 (以下、熱膨張性シートという)			
	充てん材	材質	モルタル	
		厚さ	100以上 (コンクリートの場合 70以上)	

項目	申請構造	
接着剤	(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする	
	(1) 塩化ビニル・酢酸ビニル共重合樹脂系接着剤	
	(2) 塩化ビニル・酢酸ビニル共重合樹脂系接着剤	
	(3) 塩化ビニル・酢酸ビニル共重合樹脂系接着剤	

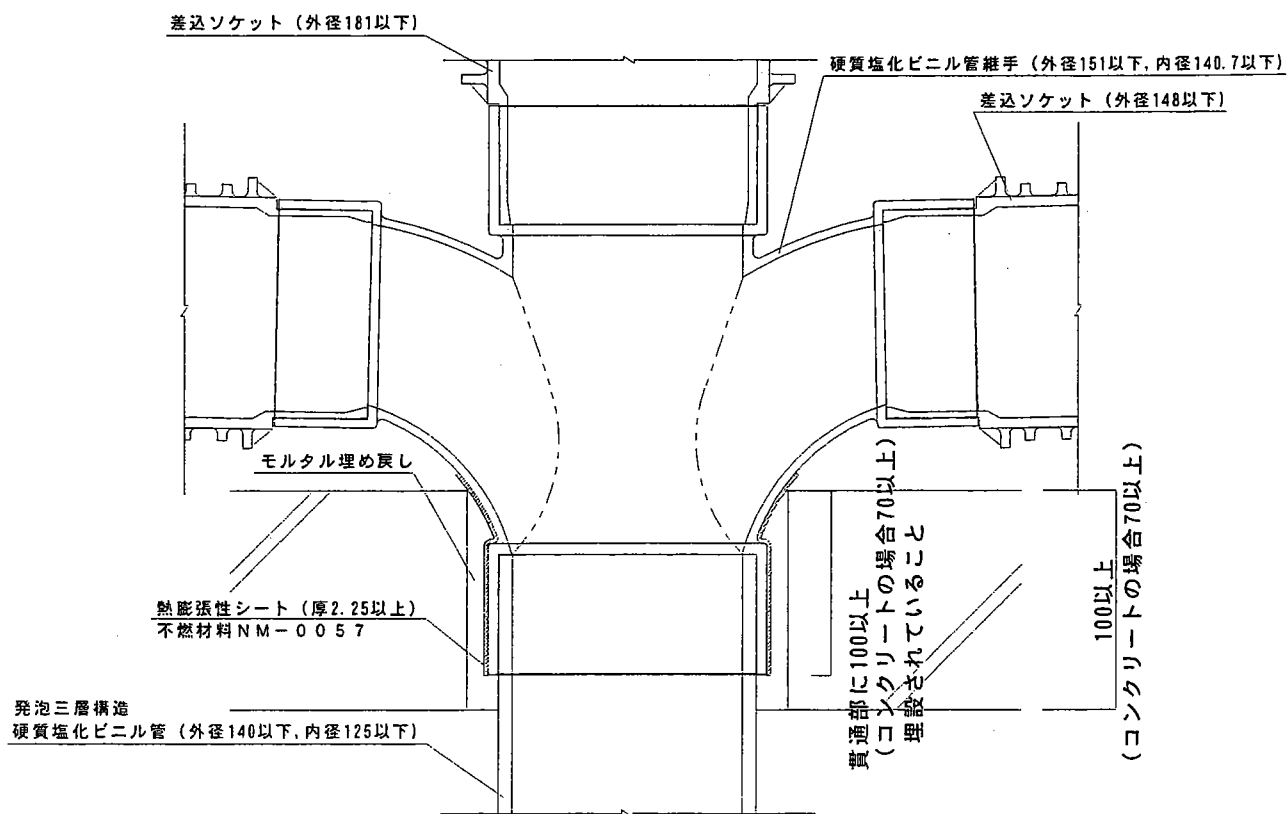
4. 構造説明図

(寸法単位：mm)

・正面図



・断面図



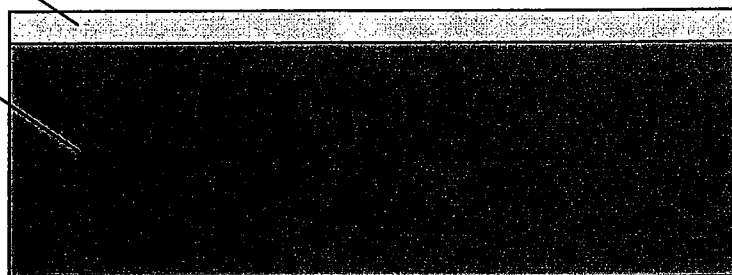
注) 寸法は3のとおり

(寸法単位：mm)

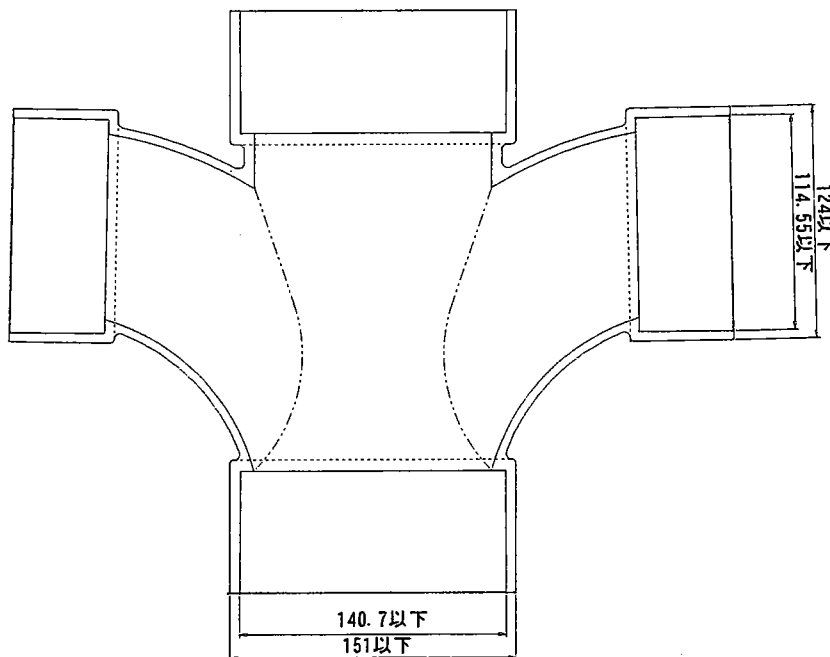
熱膨張性シート構成図

アルミニウムはく張
ガラスクロス(厚0.25)

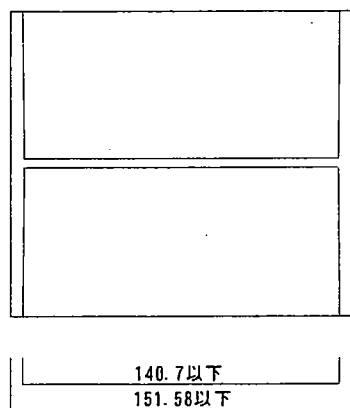
黒鉛含有
ブチルゴムシート(厚2以上)



硬質塩化ビニル管継手図

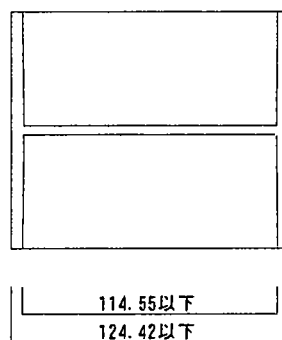


硬質塩化ビニル管継手図



硬質塩化ビニル管継手 ソケット (DS) 125A

縦部



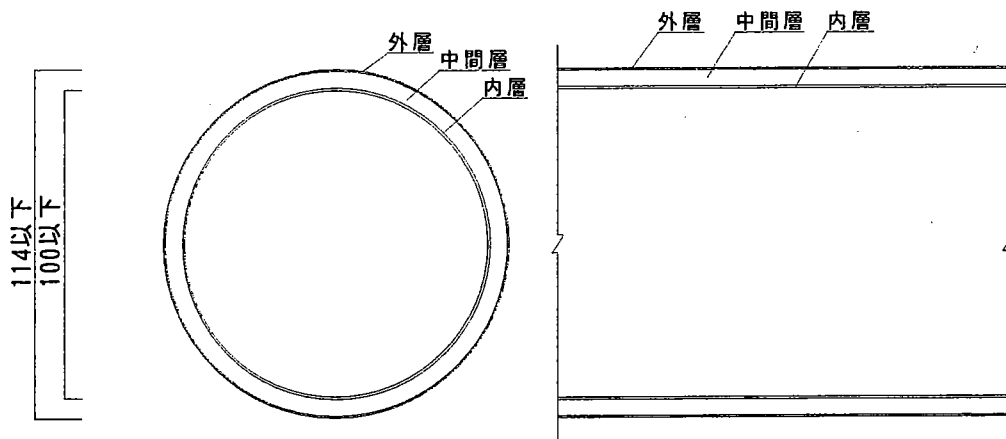
硬質塩化ビニル管継手 ソケット (DS) 100A

横部

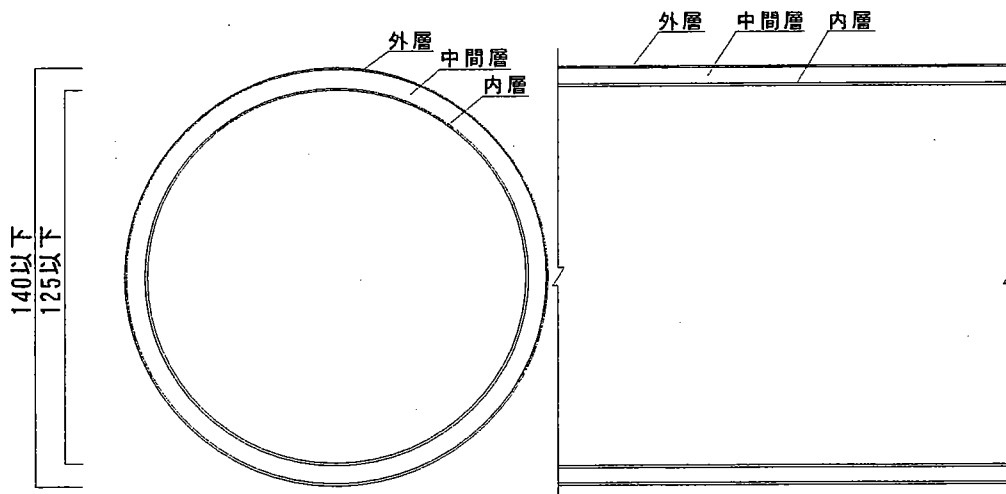
注) 寸法は3のとおり

(寸法単位：mm)

発泡三層構造硬質塩化ビニル管図

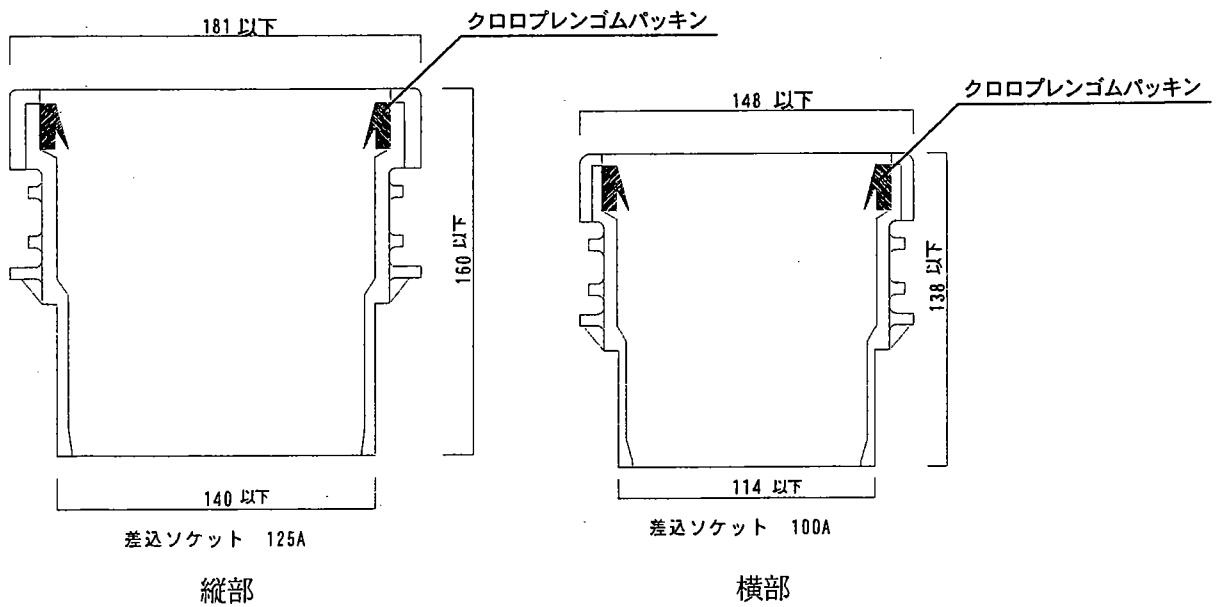


発泡三層構造硬質塩化ビニル管 (100A)



発泡三層構造硬質塩化ビニル管 (125A)

差込ソケット図



注) 寸法は3のとおり

5. 施工方法
〈施工手順〉

(1) 事前準備

開口部の設置

管が区画貫通する位置に予め開口部を設置する（開口径φ182mm以下）。

(2) 区画貫通処置

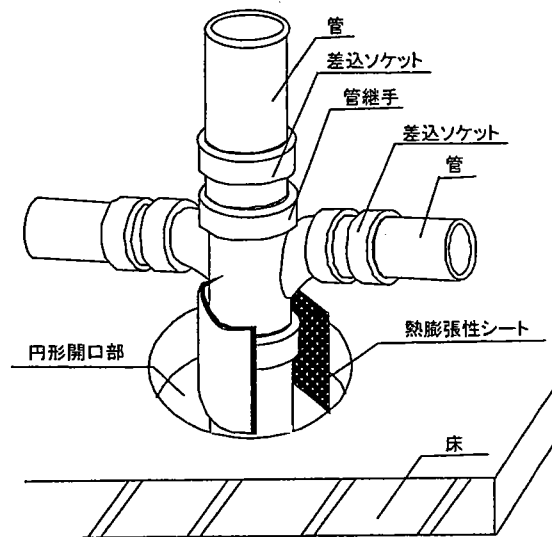
① 熱膨張性シート巻き付け位置の設定

パイプ継手の熱膨張性シートを巻き付ける位置に墨出しをする。

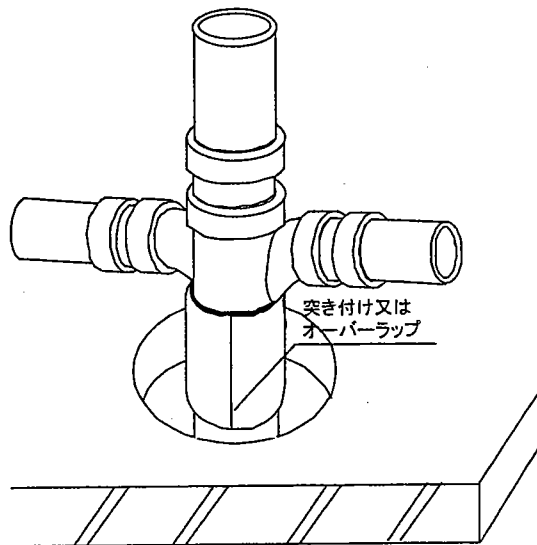
墨の位置は巻き付けた熱膨張性シートが確認でき、かつ熱膨張性シートが100mm以上（コンクリートの場合70mm以上）貫通部に入る位置となるようにする。

② 熱膨張性シートの巻き付け

上記墨出しした位置に従い、熱膨張性シートを巻き付ける。熱膨張性シートは巻物のまま直接管に巻き付けてもよいし、所定の長さに予め裁断したものを巻き付けてもよい。

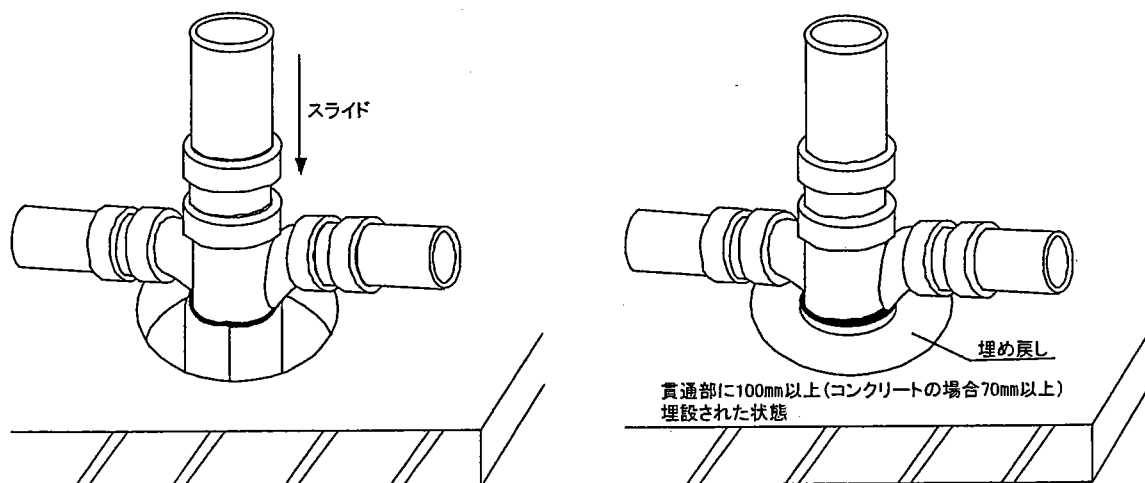


また、熱膨張性シート巻き付けの初端と終端は隙間なく必ず接するように巻き付ける（オーバーラップ可）。



③開口部の埋め戻し

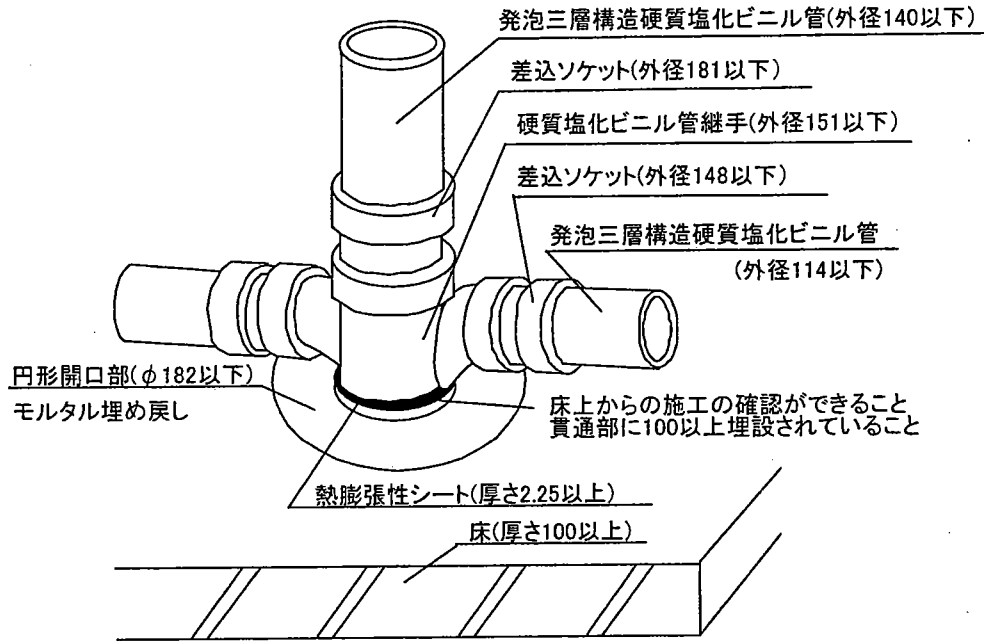
管をスライドさせ、所定の位置に設置し、開口下部に当て板をし、モルタルで埋め戻す。



〈施工図〉
・斜視図

(寸法単位：mm)

〈ALCパネルの場合〉



〈コンクリートの場合〉

